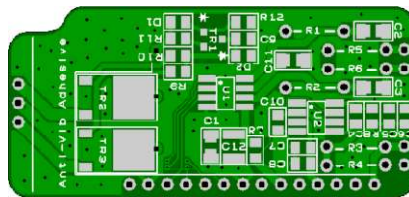
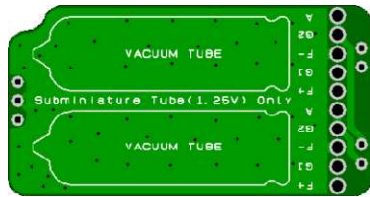


Submini Tube board 部品表 2022/5/8版



黄色の部品は付属しています。

定数	部品番号等	数量
メイン基板、サブ基板		1
220	千石、若松など REY25などの1/4サイズR1,R2	2
100K	千石、若松など REY25などの1/4サイズR3,R4	2
1M	千石、若松など REY25などの1/4サイズR5,R6	2
10 2012サイズ (10-22くらいの範囲。なるべく低めで)	千石等 R7	1
100 2012サイズ	千石等 R8-R11	4
470 2012サイズ	千石等 R12	1
0.1uF 50V PMLCAP	秋月 P-07396 C1-C4/ C1,C2(subboard)	6
22uF 25V	秋月 P-08240 C5-C9	5
1uF 25V PMLCAP	秋月 P-07397 C10,C11	2
220uF 6.3V	秋月 P-08261 C12	1
2SA1162Y	秋月 I-02634 TR1	1
TTC014	秋月 I-10231 TR2,TR3	2
TDA1387	U1	1
NJW4190M	秋月 I-14532 U2	1
LED (オレンジ、赤) VF=2Vのみ。	2012サイズ 秋月 I-06422 D1,D2	1
丸ピンICソケット	秋月 P-12368	10
ピンヘッダ (オスL型) 1×40 (40P)	秋月 C-01627 (切って使う。2台分取れる)	1
サブミニチュア真空管 1.25V 50mA以下の物	5678/5672/6418	2
100均で売っている3mmと5mmの粘着防振シート		1

免責事項

- 1) 本基板は実験基板であり、親切なキットではありません。 技術サポート等は一切行いません。
- 2) 基板の動作の完全性 (安全性、動作性を含む) は一切保証されるものではありません。
- 3) 本資料を参考に組み立て (部品調達を含む) が可能な方を対象としています。
- 4) 部品調達に関する質問に一切お答えはできません。
- 5) 本基板使用に伴う事故等に関して、一切の責任は負いません。自己責任でお願いします。
- 6) 本基板の著作権は放棄していません。 同一のアートワークでの販売は禁止します。

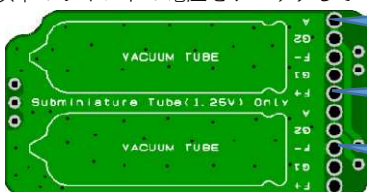
データフォーマットについて

MAX側の設定は、「I2S」となります。

組み立てについて

基板の裏面はリード部品の足が飛び出ないようにツライチカットした上、絶縁を行ってください。

以下のポイントの電圧をチェックしてください (球を刺す前に必ず)



ここが24V前後か確認

ここが1.6V前後か確認(球を刺すと定格である1.5V以下になります。)

ここがGNDです

フィラメント電圧はD2のVFで決まりますので、微調整はこのLEDを入れ替えて行ってください。

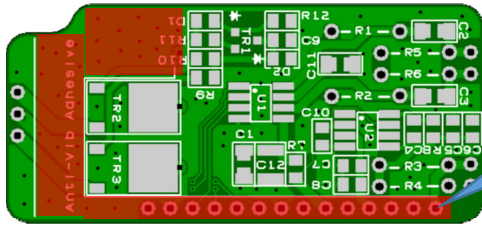
球の足は以下のように加工してください。



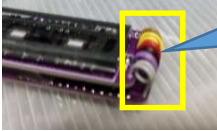
足をフォーミングして、ピンソケットに刺してはんだ付け。
こうすることにより、基板のピンソケットに抜き差ししやすくなります。

Submini Tube board 部品表 2022/5/8版

基板の結合について

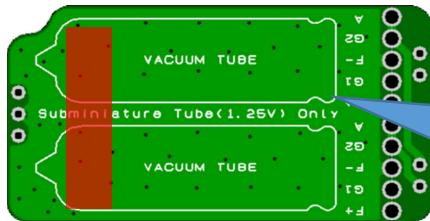


赤色部分に5mmの粘着防振シートを貼って、真空管基板を貼り付けます。



基板同士の接続は、線をこのようにカールさせるとマイクロフォニックの影響を軽減できます。

真空管の固定について



赤色部分に3mmの粘着防振シートを貼って、真空管を止めます

使用できる真空管について

定格は、50mAまでです。1AD4など100mA引く球は定格オーバーとなりますので、自己責任で使ってください。1.25Vの電池管であれば電氣的な互換性があります。

以上